

平成 25 年度 第 2 回大阪府立布施高等学校学校協議会 概要

■日 時 平成 25 年 11 月 8 日（金） 15 時 30 分～17 時 10 分 於：校長室

■出席者 協議会委員：田澤委員長，上村委員，富廣委員，佐藤委員，長崎委員

（欠席：浦田委員、塩尻委員）

事務局：中山校長，富山部長，岡田，久下，麻生，竹内

■内 容（説明および協議）

1. 布施高校の目標と施策について（校長）

- ・授業力の向上－プロセスアプローチの導入，研修の充実
- ・普通科専門コースの設置（府教委認可済み）
- ・自学自習への仕掛け

▼協議

- ・プロセスアプローチについては，教員の個性を活かす方策も考えるべき
- ・「土曜勤務」については，シフト勤や教員定数の増も探るべき

2. 布施高校最近 4 ヶ月の教育活動について（岡田）

- ・7 月末まで授業－クラブ公式戦への参加，合宿の実施，3 年進学講習の充実が難しい
- ・自習室（32 席）の利用－1 日平均 15～6 人
- ・土曜サテライン補習－DVD での授業。生徒減少の教科も
- ・創造祭（9 月）－保護者参観，中学生の見学が多い

▼協議

- ・学校行事への保護者参加が増える傾向にあるのがよく分かった
- ・土曜日等の生徒補習を行う教員の確保に工夫して欲しい

3. 68 期生修学旅行（10 月 8 日～11 日鹿児島・屋久島方面）報告（竹内）

- ・台風接近のため，日程を変更して実施
- ・保護者へのアナウンスは，当初から計画していたブログを通して行った
- ・緊急の報告をどのように伝えていくかは課題

▼協議

- ・保護者への余り細かい報告は不要なのでは？

4. 進路状況中間報告（麻生）

- 就職状況，進学状況の報告
- 校内体制の問題—経験者不足をどう補うか，ノウハウをどのように伝えるか
- 教員間での情報共有，生徒への情報発信の課題

▼協議

- 高校生の採用は，非常に制限が多く難しい。労基局からの指導も多い
- 小学校でも中学入試の早期化が著しく，学校運営に支障を来している場合があるようだ
- 学力に限らず，大学で必要な力を伸ばせるよう工夫して欲しい
- 大学では，センター利用で合格した学生は SPI でも高得点であるという結果がある。広い知識が学べるよう，工夫を重ねて欲しい

以 上

※ 第 3 回学校協議会の予定 平成 26 年 1 月 29 日（水）15 時 30 分～17 時